

新潟ジュニアドクター育成塾

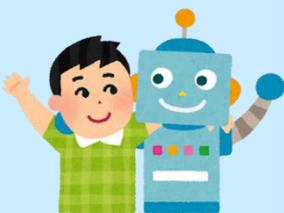
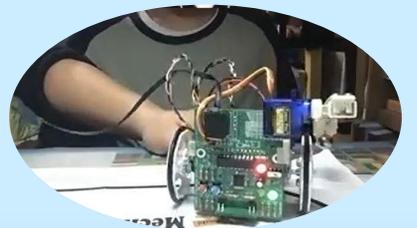
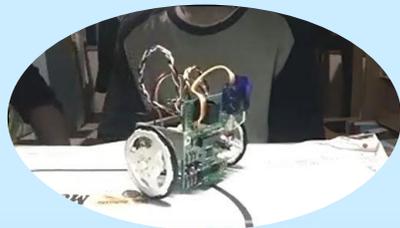
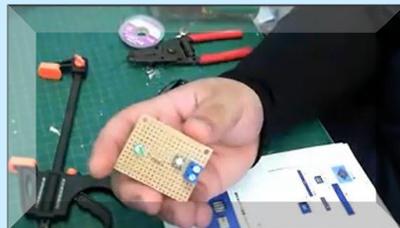
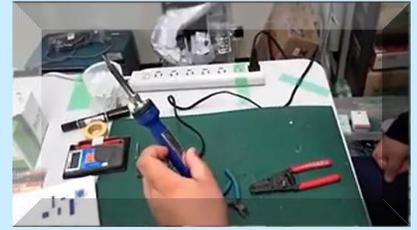
R2.11.22 No.7



ライトくん14号をつくろう：高橋隆行先生（福島大学共生システム理工学類）

「ライトくん14号をつくろう」をテーマに、受講生1人1人がロボット製作に挑戦しました。ドクタープログラム受講生8名が参加しました。昨年度マスタープログラムで受講した高橋隆行教授のお話をもとに、4名のTA(ティーチングアシスタント)：ロボット製作の支援・指導を担う福島大学の学生・大学院生)の方々にも協力をいただきながら、自宅で作業を進める形で行いました。はんだごてや工具を使うので、ヤケドやケガに注意しながらの製作でしたが、TAの細やかな配慮と理にかなった進め方で製作は順調に進みました。時間が進むにつれ、黙々と集中して製作活動を進める受講生が多くなりました。中には、部品を逆につけたり、はんだ付けがな

かなかうまくいかなかったりする様子もありましたが、受講生はTAの方に適宜質問しながら少しずつロボットを完成させていきました。午後からは高橋先生からも指導に加わっていただきました。終了予定時刻15時30分を大幅にオーバーして終了は17時30分となりましたが、集中力が途切れることはありませんでした。受講生どうしが製作したロボットを動かしながら性能を確認し合う場をもつことができなかったことは残念でしたが、オンライン講座の可能性を広げる新たな挑戦であったことには間違いがありません。



※昼食休憩を除き7時間連続の講座でした。高橋先生や4名のTAの方々適切なアドバイスと、時には保護者の方の支援を受けながら、受講生は黙々とロボット作りに励みました。オンラインで製作活動を行う難しさはありましたが、受講生の集中力には高橋先生も驚くほどでした。最初は思い通りに動かなかったロボットが、はんだ付けや接触具合など細かいところを確認しながら補修を繰り返し、思い通りに動いた時の受講生の何とも言いえない笑顔がとても印象的でした。



※この取組は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「ジュニアドクター育成塾」事業(2019年度～2023年度)に採択されています。